

★ R.I. 2660 INTERACT · NEWS ★



SCRUM

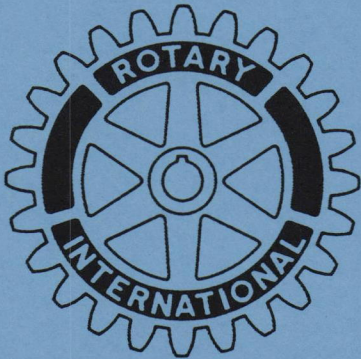
No.
30

新入生歓迎会報告

海外研修報告

年次大会報告

クラブ活動報告



Volunteer

Activities

ホストクラブ 清風学園インターアクトクラブ
スポンサークラブ 大阪南ロータリークラブ

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| ■ 発刊にあたって | 1 |
| 1. 2004～2005年度 | |
| ◆ 新入部員歓迎会 | 2 |
| 2. 2004～2005年度 | |
| ◆ 台湾海外研修 | 11 |
| 3. 2004～2005年度 | |
| ◆ 年次大会 | 24 |
| 4. 各インターアクトクラブ活動報告 | 38 |
| ◆ 清風学園インターアクトクラブ | |
| ◆ 大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ | |
| ◆ 浪速中学・高等学校インターアクトクラブ | |
| ◆ 四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ | |
| ◆ 金光八尾中学校・高等学校インターアクトクラブ | |
| ◆ 四天王寺羽曳丘高等学校インターアクトクラブ | |
| ◆ 相愛中学・高等学校インターアクトクラブ | |
| 5. インターアクトクラブ名簿 | 46 |
| ■ 編集後記 | 55 |

「SCRUM No30」発刊にあたって

インターアクトクラブは、ロータリーファミリーを構成する最も年令の若い世代の組織ですが、世界最初のインターアクトクラブは、1962年、米国・フロリダ州のメルボルン高校で誕生しました。その後、世界各地に広まり、現在では9千近いクラブ、20万人を超えるメンバーが奉仕活動を実践しています。

現在、本地区には7ロータリークラブの提唱により、7インターアクトクラブが学校を含む地域社会に奉仕する活動、国際理解を促進する活動に取り組んでいます。

本号は、2004年～2005年の海外研修、年次大会、そして、7インターアクトクラブの活動状況等を記録したのですが、若者らしい活力や好奇心に満ちた活動の様子をくみ取っていただければ幸いに存じます。

なお、末尾ながら、編集・発行を担当いただきました清風学園の顧問の先生方、そして、提唱の大阪南ロータリークラブの関係各位に厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

国際ロータリー第2660地区
インターアクト委員会
委員長 松林 寛



RI-D2660インターアクト 新入生歓迎会

日時 2004年6月6日(日)

会場 大阪府立羽衣青少年センター

次第 10:30 開会の辞

- ・ 挨拶 国際ロータリー2660地区
若林ガバナー
- ・ 各クラブ紹介 (出席者紹介)
- ・ 新入生紹介

11:00 交流交歓会

- ☆ 班分け・食材配給等
- ☆ いただきます!
- ☆ あとかたづけ

13:30 交流プログラム

14:30 終わりの集い

「新入生歓迎会」に参加して

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 若林 紀男



去る6月6日(日)、インターアクト「新入生歓迎会」が府立羽衣青少年センターに於いて開催され、多くのインターアクター、顧問の先生方、そしてロータリアンの参加を得て、バーベキューを楽しんだのであります。

私はその折、当地区のインターアクトの在り方を考えてみました。

皆様もご存じだと思いますが、インターアクトのエンブレムが持つ意味、即ち、「四つの輪」は、家庭・学校・社会及び国際社会が奉仕の研修の場である事を表しています。

当地区インターアクト委員会の方針の1つに「当地区のインターアクト・クラブは、全て学校を基盤としている。故に、提唱クラブは学校の実情に沿い、学校側と緊密なる連携・協力の上活動する」と記されています。当地区は学校を研修の場を選んでいくのです。

ロータリーにとって難問となっているのは、その学校が抱える実情であります。

私たちロータリアンの青少年の健全なる育成に対する情熱は旺盛なものがありますし、関心も高いと思っております。しかし、今日の学校に於ける先生方のご苦勞(時間的・労力的等)を考えると、学校内にインターアクト・クラブを設立し、ご指導頂く事を、顧問役の先生にお願いする事の難しさを感じる事もしばしばであります。又、青少年にとっても、進学も含め様々な制約がある事も事実です。

しかしながら、嬉々としてバーベキューを楽しんでいる若い人達を見ていると、ロータリーはインターアクト・クラブをお世話頂いている顧問の先生方と共々、この活動を進めていく事の大切さを強く感じたのであります。

「ロータリアンは青少年の手本である」と自覚し、今出来ること、将来のために今からしなければならぬことを活動目標とし、行動をしなければと決意を新たにしました。

最後に行事のお世話を頂いた関係各位に心より感謝申し上げ、私の感想文とさせていただきます。

■ 新入生歓迎会の感想

会 長 兼 主 人 様

新入生歓迎会

清風学園 中嶋 宗一郎

6月6日、大阪府立羽衣青少年センターという所で新入生歓迎会が行われた。今回は、バーベキューを通じて新たに入会された会員を歓迎し、他校との交流を深めることが目的だった。

当日、天気は晴れていて、絶好のバーベキュー日和だった。まず初めに新入生歓迎セレモニーが行われた。今年清風からは新しく入った人が一人もいなかったのに対して、他校では十人程の新入生がいる学校もあったので、とても驚いた。

新入生の紹介が終わり、バーベキューの準備にとりかかった、僕は炭で火を起こす事になった。今まで何回もキャンプ等に行きバーベキューをしたことがあったので、火はけっこう簡単に起こすことができた。しかし、いざ肉等を焼いて見ると意外にも火力が弱く肉が固くなってしまい残念に思った。

バーベキュー意外にも楽しい事があった。それはたくさんの他校の生徒と交流ができた事だ、話しかけるのは少し勇気が必要だったが、すぐに仲良くなることができた。

今回の歓迎会はとても充実していて有意義な時間を過ごせて本当に良かったと思う。これからもいろいろな行事に取り組んでいきたいと思う。



新入生歓迎会



清風学園 廣瀬 浩明

僕は、羽衣で行なわれた新入生歓迎会に行きました。

現地に着いて、最初に驚いたのは、人数です。インターアクトってこんなに人いたんだと思いました。（参加校が多いから当たり前だけど）

そして、新入生紹介が始まり、清風はなんで新入生いないんだろうと思っていると、次のイベントである、バーベキューになりました。

話ばかりしている人もいれば、作業だけしている奴もいるし、そういった意味では僕が一番暇人だったと思います。

そんな僕に、とある学校（学校名忘れた）の先生が話しかけてくれました。話の内容は忘れましたが、海外研修のときよろしくと言っていたので、あの人も行くんだと思いました。

そして、歓迎会終了。こういうふれ合いは、とても大切だということを再確認されるイベントでした。